



グローバル化時代に求められる研究開発

代表取締役副社長
佐々木 宏機

私どもを取り巻くグローバル化の潮流は、近年ますますその勢いを強めております。従来にも増して市場での熾烈な競争を強いられる状況のなか、わが国のあらゆる企業が生き残りを賭けて事業の再構築等の動きを加速しています。

こうした大きなうねりと歩調を合わせて、私たち一人ひとりの生活環境も大きく変わろうとしています。インターネットやデジタル通信技術に代表される情報技術の革新は、社会・経済の両面において私たちの暮らしに劇的な変化をもたらしつつあります。

一方で、地球温暖化や自動車の排気ガス等の環境問題に対する社会の意識が急速に高まっており、環境・省エネルギー関連商品の需要となって現出するとともに、環境との調和を重視した生産・販売活動への取組が産業界に強く要請されるなど、まさに時代は大きく変貌を遂げようとしています。

現在の変革期にあっては、技術開発力こそがすべてを制する、と申し上げても過言ではなく、このような認識の下、研究開発部門には国際コスト競争力を強化するとともに、時代の変化を見据え、社会の要請に応える差別化商品をつくり出していくことが一層強く求められています。

私どもはこのような社会の大きな変化を正面から受け止め、軸受鋼や自動車・産業機械用の構造用鋼を中心とした主力の特殊鋼事業を強化するとともに、粉末事業の強化や素形材・鍛造品等の川下分野への展開を図り、さらには、環境・エネルギー分野や情報通信産業に対応した新機能材料の開発を強く推し進めてまいり所存です。

今後の競争社会においては、研究開発による“最新の技術”をベースに“最小のコスト”での生産体制を築き上げていくことが唯一生き残りの原点であることは改めて申し上げるまでもありません。将来に亘って需要家のさらなる信頼を勝ち取っていくため、コストダウンや品質向上の提案を積極的に行うことによってニーズを先取りし、スピード感をもって共同研究等を推進し、また、その範囲を拡充していくなど、一層の研究開発体制の強化を図ってまいります。

皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。